

日時:令和 7 年 8 月 6 日(水)13 時～

場所:京葉ガスビル 5 階会議室

令和 7 年度 第1回 松戸市総合教育会議 次 第

1 開会

2 議事

議題 1 松戸市教育大綱の見直しについて

3 その他

4 閉会

令和7年度第1回 松戸市総合教育会議 出席者一覧

○松戸市総合教育会議 委員

松戸 隆政	市長
波田 寿一	教育長
武田 司	教育委員
伊藤 誠	教育委員
山形 照恵	教育委員
中西 茂	教育委員
和座 一弘	教育委員

○陪席者（総合教育会議連絡調整会議構成員を兼ねる）

伊東 朱美	総合政策部長
村上 陽子	生涯学習部長
中坂 正夫	学校教育部長
町山 信之	学校教育部審議監
渡邊 剛史	総合政策部 政策推進課長
三根 秀洋	生涯学習部 教育総務課長

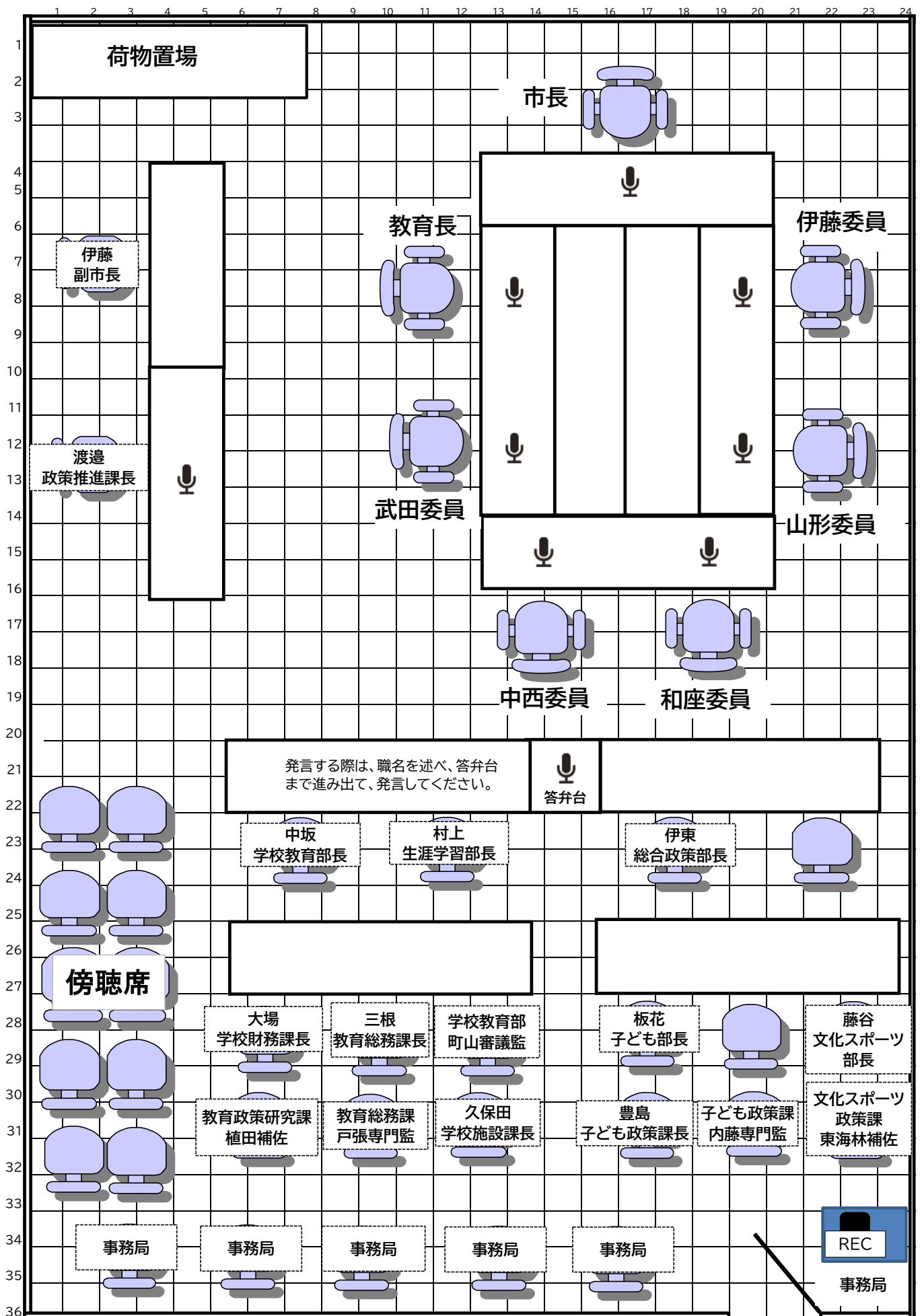
○関係部出席者

板花 克	子ども部長
藤谷 隆	文化スポーツ部長
豊島 美潮	子ども部 子ども政策課長
内藤 秀明	子ども部 子ども政策課 専門監
東海林 理江	文化スポーツ部 文化スポーツ政策課 課長補佐
植田 益規	生涯学習部 教育政策研究課 課長補佐
久保田 昭彦	学校教育部 学校施設課長
大場 慶育	学校教育部 学校財務課長
戸張 徳一	生涯学習部 教育総務課 専門監

○事務局

市長事務局	政策推進課
教育委員会	教育総務課

令和7年度 第1回 松戸市総合教育会議 席次



松戸市教育大綱について

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第1条の3の規定に基づき、市長は、教育行政に関する「教育大綱」を策定することとされました。
松戸市教育大綱は、「総合教育会議」において、市長と教育委員会が協議・調整して策定しており、本市の教育、学術及び文化の振興に関する施策の根本的な方針を定めるものです。

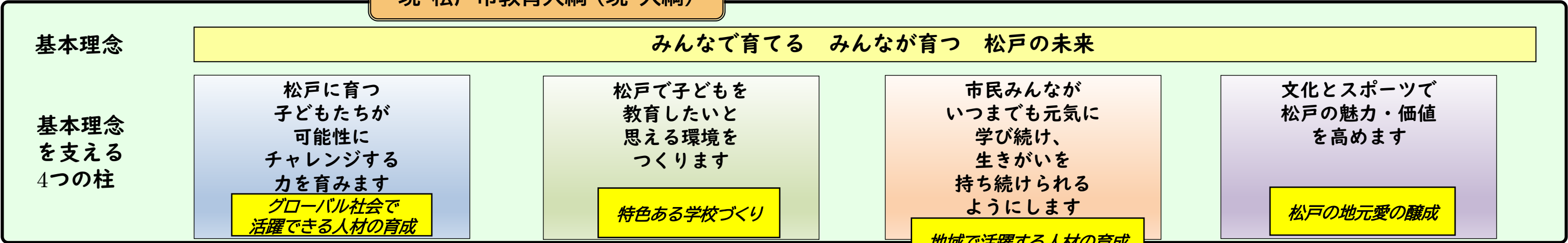
2 策定及び改定概要

平成28年1月	松戸市教育大綱策定 【概要】 平成27年9月に設置された松戸市総合教育会議での計3回にわたる協議結果を踏まえ、「はじめに」・「大綱の背景と趣旨」・「教育大綱の位置づけ」・「対象期間」・「基本理念」・「基本理念を支える4つの柱」の6項目で構成する松戸市教育大綱を策定 【計画期間】 平成28年1月から平成32年度までのおおむね5年間
令和3年4月	松戸市教育大綱改定(現在の大綱) 【概要】 令和元年度～令和2年度における総合教育会議での計3回にわたる協議結果を踏まえ、平成28年に策定した大綱の方向性や基本的な構成は踏襲した上で、時代に即した内容に改定 【計画期間】 令和3年度から令和7年度までの5年間

3 大綱の位置づけ

松戸市教育大綱は、松戸市総合計画を上位計画とし、そのめざす将来像を実現するため、教育施策などを推進するための基本的な方向性を定めるものです。
策定にあたっては、教育基本法に基づく国の教育振興基本計画を参酌するとともに、関係する本市の他の行政分野の計画との整合性を図っています。

現・松戸市教育大綱（現・大綱）



新たに加える3つの視点



1 福祉の視点

●こどもの未来を応援する「こどもまんなか社会」の実現を目指します。
⇒こどもの権利を保障しこどもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しする。
⇒置かれている環境等に関わらず、すべてのこどもたちが能力や個性を伸ばせる環境を整える。

2 教育環境の視点

●小中学校施設の老朽化対策及び学習環境の整備を進めます。
⇒子どもたちが快適な学習環境で、教育を受けられる環境を整える。

3 新しい文化・スポーツの視点

●文化芸術やスポーツの多様な価値を活かし、社会全体を豊かにします。
⇒従来の文化やスポーツのみならず、アーバンスポーツ等の若者文化の振興も図る。

松戸市教育大綱

—みんなで育てる みんなが育つ 松戸の未来—

令和3年4月

松 戸 市

はじめに

近年では、少子高齢化のさらなる進行、グローバル化の進展、I o Tやビッグデータ、A I等の技術革新により、働き方や学び方などの社会環境が大きく変化しています。教育分野においては、学習指導要領の改訂、英語教育改革、大学入試改革、プログラミング教育など数々の新たな施策が進められています。

このように私たちを取り巻く環境が目まぐるしく変化する時代においては、誰もが自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成や、一人一人の活躍により、豊かで安心して暮らせる社会の実現が求められています。

令和2年には、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、私たちの暮らしに多大な影響を及ぼしました。このような不測の事態が生じた際でも、学びを止めない環境を構築していく必要があります。

加えて、2030年までの国際目標として、持続可能な開発目標（SDGs）が掲げられており、多様性と包摂性のある「誰一人取り残さない」社会の実現についても、取組を進めていかなければなりません。

今回、平成28年1月策定の「松戸市教育大綱」が令和2年度で期間満了を迎えることから、総合教育会議において再度検証し、改定を行いました。人生100年時代を見据え、市民一人一人が、その生涯にわたって自律的に学び、必要とする様々な力を身につけ、その成果を生かしていくことが可能な社会の重要性を強く感じているところです。

予測困難で変化し続ける社会の中においても、「教育はみんなで」を合言葉に、学びの文化が本市に定着するよう、「みんなで育てる みんなが育つ 松戸の未来」を基本理念として、今後も、多くの市民の皆さまとともに教育施策を推進してまいります。

令和3年4月

松戸市長 本郷谷 健次

教育大綱改定の背景と趣旨

平成27年度から教育委員会制度が大きく変わり、教育行政を協議する「総合教育会議」を市長が主宰するとともに、教育行政の大綱を策定することとされました。それを受け、対象期間を平成28年1月から平成32年度（令和2年度）までとする松戸市教育大綱を平成28年1月に策定しました。今回、期間の満了を迎えるにあたり、内容を見直して改定することとしました。

松戸市教育大綱は、「総合教育会議」において、市長と教育委員会が協議・調整して策定するもので、本市の教育、学術及び文化の振興に関する施策の根本的な方針を定めるものです。今回の教育大綱の改定にあたっては、「総合教育会議」での協議結果を踏まえ、平成28年に策定した大綱の方向性や基本的な構成は踏襲した上で時代に即した内容に改定いたしました。

教育大綱の位置付け

松戸市教育大綱は、松戸市総合計画を上位計画とし、そのめざす将来像を実現するため、教育施策などを推進するための基本的な方向性を定めるものです。策定にあたっては、教育基本法に基づく国の教育振興基本計画を参酌するとともに、関係する本市の他の行政分野の計画との整合性を図っています。

教育大綱の対象期間

大綱の対象期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。
ただし、必要に応じて見直しを行うものとします。

松戸市教育大綱

基本理念

みんなで育てる みんなが育つ 松戸の未来

松戸市は、すべての市民が、生涯を通じ学ぶよろこびを感じられ、未来に向かって成長できるように支援します。

そのために、松戸市は、市民・地域社会・学校・行政のそれぞれが、互いに助け合って、一人一人が孤立することなく、将来にわたってともに学び合い、互いを育めるような環境をつくります。

そして、学びから、変化し続ける社会に対応し、より広い世界へ自ら飛躍していく力を育み、みんなで松戸の未来を創ります。

松戸に育つ
子どもたちが
可能性に
チャレンジする
力を育みます

松戸で子どもを
教育したいと
思える環境を
つくります

市民みんなが
いつまでも元気に
学び続け、
生きがいを
持ち続けられる
ようにします

文化とスポーツで
松戸の魅力・価値
を高めます

基本理念を支える4つの柱

1 松戸に育つ子どもたちが可能性にチャレンジする力を育みます

- 子どもたちが主体的にそれぞれの能力や個性を伸ばせるように ICT の効果的な活用を含めた教育環境をつくります。
- 子どもたちが自らの将来に目標を持ち、その実現に向けてチャレンジするための「確かな学力、豊かな心、健やかな体の知・徳・体のバランスのとれた力（生きる力）」を育みます。
- 子どもたちが自己肯定感を育み、社会的に自立し、多様な人々と協働しながら創造的に生きていく基礎を養います。
- 子どもたちが本来持っている能力や個性を伸ばすことによって、今後ますますグローバル化し、変化し続ける社会の中で活躍し、持続可能な社会の担い手となる人材を育成します。

2 松戸で子どもを教育したいと思える環境をつくります

- 市民みんなで子どもの成長を支え、質の高い教育が受けられる環境を整備します。
- 子どもたちが安全に安心して学ぶことができるように、家庭での教育を支援するとともに、学校・地域社会が一緒に子どもの成長を支援できる体制を整えます。
- すべての子どもたちが孤立することなく健やかに成長できるように、子どもの権利が尊重される地域社会をつくり、乳幼児期から子どもの成長に応じた切れ目のない教育が受けられるようにします。

3 市民みんながいつまでも元気に学び続け、生きがいを持ち続けられるようにします

- 高齢者も障害のある人も市民みんなが、継続して学習や運動ができる環境をつくります。
- 生涯にわたって学習活動や運動を楽しみながら、自ら学び、学び合える「人と人につなががるまち」を目指します。
- 市内大学との連携や社会教育施設の充実を図り、生涯学習機会の提供に努めます。
- 市民が身に付けた知識や経験を活かして、地域の課題を自らの力で解決していけるよう支援します。

4 文化とスポーツで松戸の魅力・価値を高めます

- 文化やスポーツの活動をする人たちが活躍できるように、文化やスポーツの振興を図り、多様性が尊重され可能性を発揮できる環境を整えます。
- 多様な文化芸術活動を通して、国際的な広い視野で文化を創造できる環境を整えます。
- 松戸の歴史文化を保護・継承し、学習することで、松戸に誇りと愛着を持つ心を育てます。

3

言語活用科の推進

1 言語活用科グランドデザイン

【めざす児童生徒の将来像】

論理的・批判的思考力やコミュニケーション能力を
身につけ、グローバル化する社会で活躍できる児童生徒

【言語活用科の目標】

- ・自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる【ロジカルシンキング】
(結論を裏付ける理由があるか、その理由は妥当か。項目立てて整理されているか。等)
- ・相手の伝えようとしていることを理解することができる【クリティカルシンキング】
(相手の意見を正確に受け止められているか。「論理的か、偏りがないか」を意識できているか。等)

日本語分野

【日本語分野の目標】

- ・考えたり表現したりする方法を工夫し、自分の意見をわかりやすく伝える力を身に付ける
- ・相手が伝えようとしていることを理解する力を身に付ける

書く力を
きたえよう

各教科・領域
M I M 等

《中学校》

思考・表現の基礎を活かす

	「書く」を含む 意見を言おう	わかりやすく 伝えよう	分析しよう	その人になつて 考えよう	高めよう 思考力	批判的思考力 を高めよう
中3	●	●	●	●	●	●
中2	●	●	●	●	●	●
中1	●	●	●	●	●	●

《小学校》

思考・表現の基礎を学ぶ

	「書く」を含む 意見を言おう	わかりやすく 伝えよう	分析しよう	その人になつて 考えよう	話の要点を とらえよう	批判的思考力 を高めよう
小6	●	●	●	●	●	●
小5	●	●	●	●	●	●
小4	●	●	●	●	●	●
小3	●	●	●	●	●	●
小2	●	●	●	●	●	●
小1	●	●	●	●	●	●

英語分野

【英語分野の目標】

- 《中学校》
英語を使って、自分の意見をわかりやすく伝える力を身に付ける
- 《小学校》
英語を学ぶ楽しさを知り、英語学習の基礎的な力を身に付ける

《中学校》

英語を使うⅡ

「Matsudo Language Arts Teaching Plan」で
4技能を身につけよう 活用しよう
(Listening, Reading, Speaking, Writing)

《小学校》

高学年・英語を使うⅠ

【外国語科】

ジョリーフォニックス

中学年・英語に慣れる

【外国語活動】

ジョリーフォニックス

低学年・英語にふれる

ジョリーフォニックス

「LAT」と学習しよう

小学校から中学校までの一貫した「ことばの教育」

学校生活や日常生活に活かす